

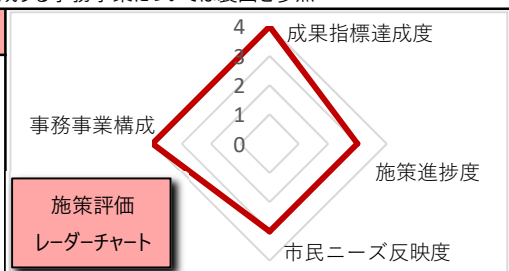
令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No. 4 - 1
------------	-----------	------------------

基 本 事 項	施策名	第1節 秩序ある土地利用の推進		所管部署名	都市整備部
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり（地域振興部門）		評価責任者	竹内 栄一
	施策小項目	1 計画的な土地利用の推進	施策小項目	関連部署名(1)	都市整備部都市計画課
	施策小項目		施策小項目	関連部署名(2)	
	施策小項目		施策小項目	関連部署名(3)	
			施策小項目	関連部署名(4)	
	施策の目的	長期的な視点に立ち、地域の特徴を活かし、総合的かつ計画的な土地利用をめざす。			市民の役割
	施策に関する個別計画	吉川市都市計画マスタープラン（平成12年～令和3年度）			
					行政の役割

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指 標	① 土地利用に対する市民満足度	%	53.6	59.1	57.4	A	60.0
	増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法			評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。			合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
	評価軸②	評 価 の 理 由 ・ 説 明			3点
	施策の進捗状況				3点
	評価軸③				3点
市民ニーズの反映度	4点				
評価軸④	事務事業の構成としては、施策の目的を達成するに十分な内容となっている。 ※構成する事務事業については裏面を参照			4点	
	施策に関する現状と課題				総合評価
	・当市は、人口増加に伴う住宅地の受け皿として土地区画整理事業による良好な市街地開発を進めてきた。しかしながら、今後の人口減少・超高齢化に伴い、都市構造は、拡散型から集約型への転換が求められるとともに、防災上危険な市街地の改善など、都市計画上の課題も様々であることから、それらの課題に対し、都市計画マスタープランの改定を見据え、市の土地利用のあり方等を検討する必要がある。 ・まちづくりの計画やルールを定めるにあたっては、市民等の住環境や財産等に影響するため、情報提供や市民参加の機会拡大を図り、まちづくりに対する理解と関心を高めていく必要がある。				4点
	施策評価 レーダーチャート				評価軸 ①～④の 評価点の 平均点



貢献 順位	事務事業 番号	事 務 事 業 名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成	1	701101	都市計画決定・変更事業	1 都市計画決定・変更の告示	件	4	2	現状のまま継続
	2	701401	吉川中央土地区画整理促進事業	1 事業の進捗率（事業費ベース）	%	93.30	93.20	現状のまま継続
	3	702101	土地区画整理推進事業	1 土地区画整理法等に基づく事業実施手続き	%	50.00	50.00	現状のまま継続
	4	701103	都市計画情報提供事業	1 都市計画に関するコンテンツの閲覧数	件	2,700	2,416	現状のまま継続
	5	701102	都市計画図修正事業	1 都市計画図の頒布	枚	120	87	現状のまま継続

特 記 事 項	令和元年度は、新栄地区と南中学校周辺地区において、火災に強いまちづくりを進めるため、準防火地域の指定を行った。また、吉川美南駅東口周辺地区の商業・業務ゾーン、産業ゾーンの用途地域の変更、防火地域・準防火地域の指定、地区計画の指定に向けて、素案の作成などの準備を進めた。
------------------	--

今 後 の 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づき、計画的なまちづくりを推進する。なお、令和3年度に計画期間が満了するため、都市計画マスタープランの改定を行う。 ・地域の特徴を踏まえ、必要に応じて、用途地域や地区計画などの都市計画の見直しを行う。 ・都市計画に係る情報を提供し、市民の都市計画への理解と関心を高める。
-----------------------	---

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 4 - 2	
基 本 事 項	施策名	第2節 新しい市街地の整備	所管部署名	都市整備部
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり（地域振興部門）	評価責任者	竹内 栄一
	施策小項目	1 吉川中央地区の整備	施策小項目	
	施策小項目	2 吉川美南駅周辺地域の整備	施策小項目	
	施策小項目		施策小項目	
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な市民生活を支えるため、環境に配慮した市街地の形成を図る。 ・吉川の新たな玄関口にふさわしい吉川美南駅と一体となったまちづくりを推進する。 	役割 分担	市民の役割 ・組合員として、土地区画整理事業の推進に努める（吉川中央地区）。 ・土地所有者や居住者をはじめとする住民は、事業の推進に協力することに努める（吉川美南駅東口周辺地区）。 行政の役割 ・補助金の活用と土地区画整理法123条に基づく援助等を行い事業を促進する（吉川中央地区）。 ・吉川美南駅と一体となった新たな拠点形成に向け事業を推進する（吉川美南駅東口周辺地区）。
	施策に関する個別計画			

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
	指標の性質（下段）							
指 標	①	吉川中央土地区画整理事業面積に対する使用収益開始面積の割合	%	79.7	91.7	93.2	B	100
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
	②	吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業面積に対する使用収益開始面積の割合	%	0	-	-	-	11.00
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 3点	
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	吉川中央地区（組合施行）：工事はほぼ完了し、未契約保留地は数件となり、おおむね順調に進捗している。 吉川美南駅東口周辺地区（市施行）：第1期供用開始（令和4年度中）に向けて、工事等はおおむね順調に進捗している。	3点
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		吉川中央地区（組合施行）：組合施行による土地区画整理事業であり、組合員の意見を取り入れながら事業が進んでいる。 吉川美南駅東口周辺地区（市施行）：市施行による土地区画整理事業であり、審議会だけでなく地権者の意見を伺いながら事業が進んでいる。	3点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		事務事業の構成としては、施策の目的を達成するに十分な内容となっている。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題	・吉川中央地区（組合施行）：令和3年夏頃の換地処分に向けて、事業を進めている。今後、清算金などの換地処分についての組合員の理解のほか、コロナ禍における総代会の開催、委託業務の遅れなどが懸念される。 ・吉川美南駅東口周辺地区（市施行）：令和元年5月から順次仮換地指定を実施しているが、換地への合意が図られない地権者がいることや、国の補助金の内示率が低いことから、全体の事業進捗に影響を及ぼす可能性がある。今後は事業期間内での整備を行うために、地権者と継続的に調整を重ねる事業への協力に理解を得ることはもちろんのこと、効率性や経済性に優れた工事計画や建物移転計画を状況にあわせて適宜見直しを図りながら事業を推進していく必要がある。			
総合評価				3点
	施策評価 レーダーチャート			評価軸 ①~④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構 成	1	702101	土地区画整理推進事業	1	土地区画整理法等に基づく事業実施手続き	%	50.00	50.00	現状のまま継続
	2	701401	吉川中央土地区画整理促進事業	1	事業の進捗率（事業費ベース）	%	93.30	93.20	現状のまま継続
	3	702102	土地区画整理事業特別会計運営事業	1	予算執行額	千円	2,304,211	2,239,587	現状のまま継続
	4	702103	長期償還事業（利子）	1	償還金（利子）歳出額	%	7.77	12.57	現状のまま継続
成 す る 事 務 事 業									

特記事項
吉川中央地区（組合施行）：令和元年度は、換地処分に向けた区画整理登記申請書・変更事業計画書等の作成、未契約保留地の交渉などを支援した。
吉川美南駅東口周辺地区（市施行）：4月第6回土地区画整理審議会、5月第3回評価委員会、第7回土地区画整理審議会、6月近隣公園ワークショップ開催（2回）、まちづくりニュース発行、7月第1回事業者選定委員会、第8回土地区画整理審議会、第1回産業ゾーン事業者募集、10月第2回事業者選定委員会、11月第2回事業者選定委員会、第9回土地区画整理審議会、12月まちづくりニュース発行、優先交渉権者決定

今後の展開
吉川中央地区（組合施行）：令和3年夏頃の換地処分に向けた未契約保留地の契約、換地計画書の作成などを支援する。
吉川美南駅東口周辺地区（市施行）：市の新たな玄関口にふさわしい土地利用を図るため、「笑顔と緑あふれるみんなの庭」をコンセプトにした土地区画整理事業を、地権者及び関係機関の協力を得ながら、引き続き推進していく。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	4 - 3	
基 本 事 項	施策名	第3節 快適な道路網の充実	所管部署名	都市整備部
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり（地域振興部門）	評価責任者	竹内 栄一
	施策小項目	1 幹線道路の整備	施策小項目	
	施策小項目	2 生活道路の整備	施策小項目	
	施策小項目	3 道路の維持管理の充実	施策小項目	
			関連部署名(1)	都市整備部道路公園課
			関連部署名(2)	都市整備部都市計画課
			関連部署名(3)	
			関連部署名(4)	
	施策の目的	すべての人が安全で快適に通行できる道路環境をめざす。	役割分担	市民の役割 道路調査、測量及び用地提供などに対する理解と協力することに努める。 道路の危険箇所を発見した場合は、市への連絡に努める。 行政の役割 市民が安全に通行できるよう道路の拡幅など道路改良工事を行う。 道路パトロールなどを行い危険箇所の早期発見及び補修による道路の適切な維持管理
	施策に関する個別計画			

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指	① 道路整備に対する市民満足度	%	48.4	59.7	52.4	A	55.0
	増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3

評価軸	評価方法		評価点
	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明 ・幹線道路は、東西の骨格となる都市計画道路越谷吉川線の整備を、県と市の事業で進めており、交通の円滑化と利便性の向上に努めている ・市街化区域内の道路は多くを土地区画整理事業で整備しており、生活道路は概ね整備されている。しかし、経年劣化が進み舗装のひび割れや穴、段差などが増えており、随時補修はしているが対象範囲が広く、修繕が十分ではない。道路後退等の未舗装道路の対応も十分でない。 ・市民からは、特に生活道路に関する要望が多く、即時に現場の状況を確認した上で緊急性の高いものから順次対応している。緊急性が低いものについても、処理までの経過を記録し情報を管理している。 ・市民意識調査の結果では、幹線道路、生活道路ともに満足度が6割程度となっており、概ね理解が得られているものと考える。 ・道路網の充実には、交通利便性をより向上させるための新設道路の整備や、安全に利用できる道路としての維持管理が重要であり、設定した事務事業は妥当なものである。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
施策に関する現状と課題			
価	・管理する道路の範囲が広く、かつ、経年劣化が進んでいることから、道路施設を維持管理するための財源の確保が課題となっている。		総合評価
			4点
			評価軸 ①~④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成	1	703202	都市計画街路整備事業	1 都市計画道路整備率	%	73.80	73.80	現状のまま継続
	2	703203	道路維持補修事業	1 道路補修要望等処理率	%	85.00	67.70	現状のまま継続
	3	703201	道路改良事業	1 道路改良工事延長	m	50.00	120.30	現状のまま継続
	4	703204	橋りょう長寿命化事業	2 橋梁の修繕・架替実施済橋梁数	橋	21	21	効率化
	5	703102	まちづくり整備基準条例道路後退用地取得事業	1 採納申請件数①	件	35	59	現状のまま継続
	6	703101	道路台帳整備事業	1 道路台帳補正更新延長	m	4,149.50	1,329.50	効率化
す る 事 務 事 業								

特記事項
 ・道路の維持管理については、予算を効果的に活用し対応した。また、日々、職員が協力して要望対応や道路パトロールなどを行っており、休日においても当番制で体制を整え、道路施設の維持・管理にあたった。

今後の展開
 ・新設道路の整備や既存道路の維持管理についての市民意識は高い。道路は、市民の生活に欠かせない活動の基盤であり、道路管理者として、道路施設が安全に利用できるよう、引き続き、これまでの取り組みを行っていく。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	4 - 4
------------	-----------	------------	-------

基	施策名	第4節 充実した公共交通網の整備	所管部署名	政策室
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり（地域振興部門）	評価責任者	野尻 宗一
	施策小項目	1 都市間交通の充実	施策小項目	
	施策小項目	2 市内公共交通網の整備	施策小項目	
	施策小項目	3 交通利便性の向上	施策小項目	
本	施策小項目		関連部署名(1)	政策室
	施策小項目		関連部署名(2)	
	施策小項目		関連部署名(3)	
	施策小項目		関連部署名(4)	
事	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が都市間を移動しやすくなることをめざす。 ・だれもが公共交通機関を利用して、行きたい時に行きたい場所へ移動する機会が得られることをめざす。 ・市民が公共交通機関を利用しやすい環境づくりをめざす。 	役割分担	市民の役割 ・公共交通機関の積極的な利用に努める。 ・交通事業者は、利用者ニーズを踏まえた必要かつ適切なサービスの提供に努める。
	施策に関する個別計画			
項				

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指	公共交通の充実に対する満足度	%	42.6	45.5	47.0	C	50.0
			増加することが良いとされる指標	H28	R1		R1
標							

施策の	評価軸	評価方法		評価点
		指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 2点
の	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価の理由・説明 ・目標である「公共交通に対する満足度」については、設定時よりは向上しているものの、目標を達成することができなかった。 ・市民ニーズを把握し、事業者への要望を行っているが、運転手不足や採算性などの課題から実現に結びつかないことが多い。 路線バスの運行を基軸とした公共交通網の整備や、公共交通に関する要望など、施策の体系に基づいた事務事業で構成しており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		2点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		3点
	施策に関する現状と課題			
の	・路線バスについては、市民から寄せられる要望などを基に、事業者への要望活動を行っているが、増便や路線の新設等については運転手不足や利用者の状況に伴う採算性などの課題から実現が厳しい状況である。 ・鉄道については、沿線自治体とともに要望活動を実施してきた結果、東京駅直通の運行本数や強風に伴う運休対策等が充実してきているが、市民からの要望の多い深夜帯における運行時間帯の延長は実現できていない。 ・比較的交通便利性の低い地域の公共交通の補完を目的として、平成29年度から試行的に3年間、該当する地域の75歳以上の方を主な対象にタクシー利用補助事業を実施している。		総合評価 <div style="text-align: center;"> </div>	
			評価軸①~④の評価点の平均点 3点	

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値	
構 成	1	101303	路線バス運行費補助事業	1 補助対象路線の利用者数	人	670,000	604,480	現状のまま継続
	2	101301	武蔵野線旅客輸送改善対策事業	1 住み心地を悪くした理由で「鉄道の便」と回答した市民の割合	%	40.00	34.60	現状のまま継続
	3	101304	公共交通対策事業	1 公共交通を利用しやすいと感じている市民の割合	%	50.00	45.50	現状のまま継続
	4	101305	タクシー利用料助成事業	1 タクシー利用料助成券の利用率	%	75.00	66.40	現状のまま継続
	5	101302	鉄道新線対策事業	1 地下鉄8号線の建設促進に係る要望活動及び会議への出席率	%	100	100	現状のまま継続
	6	101306	ノンステップバス導入費補助事業	1 ノンステップバス運行率	%	97.33	97.33	現状のまま継続
す る 事 務 事 業								

特記事項
・市民意識調査等により把握した市民ニーズ（便数増や運行時間延長など）やまちづくりの方向性を踏まえ、公共交通事業者へ要望した。
・東京直結鉄道の実現に向けて、地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会を通して要望活動を行った。
・平成29年度から3年間の試行的取り組みとしてタクシー利用料金助成事業を実施した。
・今後の公共交通の取組の基礎資料や、タクシー利用料金助成事業の検証資料とするため、移動実態調査やタクシー利用料金助成事業利用者アンケートを実施した。
・吉川市役所停留所（運動公園側）のバスシェルター設置について、要綱に基づき設置事業者に対し補助金を交付した。
・モビリティマネジメント推進の取組として、市民まつりにおいて、グローバル交通の協力のもと「バスの乗り方教室」を実施した。

今後の展開
・新型コロナウイルスの影響により、公共交通においては利用者が減少し、先行きの見通しがきかない状況ではあるが、引き続き、事業者支援や公共交通の利用促進の取組を行いながら、可能な限り、鉄道・路線バス事業者への要望活動を実施していく。
・タクシー利用料金助成事業について、令和2年度に移動実態調査や利用者アンケートを踏まえた制度の検証を行い、令和3年度以降の事業について検討する。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日			No.	4 - 5			
基 本 事 項	施策名	第5節 魅力ある農業の振興		所管部署名	産業振興部			
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり（地域振興部門）		評価責任者	山崎 守			
	施策小項目	1 農業経営の活性化	施策小項目	関連部署名(1)	産業振興部農政課			
	施策小項目	2 市民に理解される農業振興	施策小項目	関連部署名(2)	農業委員会			
	施策小項目	3 生産基盤の整備	施策小項目	関連部署名(3)				
	施策小項目			関連部署名(4)				
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・安定・持続した農業経営のもと、消費者に安全安心な吉川産農産物が安定供給されることをめざす。 ・農業生産基盤を整備することにより、生産効率の高い農業が行われることをめざす。 ・土に親しむ機会等が増えることにより、市民の農業に対する関心が高まることをめざす。 		役割 分担	市民 の 役割	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者は、消費者ニーズに対応できる安定した農業経営に努める。 ・消費者は、農業や食に関する理解を深めることに努める。 ・農業の持つ多面的機能への理解を深め、多面的機能の維持・発揮に協力することに努める。 		
	施策に関する個別計画					行政 の 役割	生産効率の高い、安定した農業経営のもと、消費者に農産物が提供されるよう、農業者への支援を行う。市民の市内農業に対する理解が深まる機会を提供する。	

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
①	認定農業者及び認定新規就農者数	人	96	82	98	D	100
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
②	各種イベント参加者アンケートにおける吉川産農産物の購入意欲度	%	94.8	96.0	98.3	D	100
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
③							
④							

施策の 評価	評価軸 ①	評価方法		評価点
		指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 2点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
	評価軸 ② 施策の 進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価の理由・説明 ・消費者PRを含め、安定した農業経営に係るさまざまな事業を展開し、農業支援を行っているが、全国的にも深刻な高齢化等による農業者不足に歯止めが掛からない状況である。	2点
	評価軸 ③ 市民ニーズ の反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・市民意識調査において「吉川産農産物の購入頻度」や「購入する際に重視するもの」について、また、各イベントにおいて「吉川産農産物の購入意欲」について、継続的に調査を行っている。 ・それぞれ結果を分析し、次期事業につなげている。	3点
	評価軸 ④ 施策に対する 事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・目的実現に向け、農産物のPRから農業者支援、水路・ほ場整備等さまざまな事業を展開している。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
	施策に関する現状と課題			総合評価
	・目的実現に向け、市民ニーズをふまえながら、農産物のPRをはじめ農業者支援、水路・ほ場整備等さまざまな事業を展開しているが、高齢化による農業者不足等課題解決には至らない状況である。			2点
				施策評価 レーダーチャート 評価軸 ①~④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成 す る 事 務 事 業	1	601102	吉川農産物PR事業	1 イベント参加者満足度	%	90.00	82.20	拡大
	2	601105	認定農業者育成事業	1 認定農業者及び認定新規就農者数	人	87	82	現状のまま継続
	3	601116	新規就農総合支援事業	1 青年新規就農者の離農者	人	0	0	現状のまま継続
	4	601112	農業団体支援事業	1 会員の総数	人	130	116	現状のまま継続
	5	601103	後継者団体活動補助事業	1 農業後継者団体新規加入者	人	3	4	現状のまま継続
	6	601113	農地集積促進事業	1 利用権設定面積	㎡	80,000	184,253	手段を改善
	7	601106	農業近代化資金利子補給事業	1 利子補給制度利用借入件数	件	18	16	現状のまま継続
	8	601108	市民農園管理運営事業	2 利用率	%	100	78.00	拡大
	9	601109	農業振興地域整備事業	1 申請から認可まで要する月数	月	18	24	現状のまま継続
	10	601101	水田農業振興事業	2 経営所得安定対策等参加農家数	戸	30	26	現状のまま継続
	11	601107	農事組合振興事業	1 農事組合加入世帯	世帯	1,300	1,206	現状のまま継続
	12	601114	安全安心農産物事業	2 農産物の放射性物質分析検査結果公表数	件	2	2	現状のまま継続
	13	601111	市民まつり農業まつり事業	2 農業まつり品評会（農産物）出展数	点	400	239	現状のまま継続
	14	601110	家畜伝染病防除対策事業	1 家畜伝染病発生件数	件	0	0	現状のまま継続
	15	601203	用排水路整備事業	1 水路整備率	%	100	96.35	現状のまま継続
	16	601202	用排水路維持管理事業	1 用排水路の補修要望処理率	%	90.00	70.46	現状のまま継続
	17	601201	農地維持・資源向上支払交付金事業	1 活動組織継続率	%	60.00	60.00	現状のまま継続
	18	601204	土地改良施設維持事業	1 事業実施率	%	100	100	手段を改善
	19	601206	土地改良施設維持管理適正化事業	1 整備実施率	%	100	120.37	現状のまま継続
	20	601104	後継者育成資金利子補給事業	1 補助金利用件数	件	1	0	他の事業に統合
	21	601115	農業チャレンジ吉川塾推進事業	1 農業チャレンジ吉川塾塾生数	人	1	0	他の事業に統合
	22	601205	埼玉型ほ場整備事業	1 協議会	組織数	1	1	現状のまま継続
	23	909101	農業委員会運営事業	1 利用集積率	%	17.00	18.60	現状のまま継続
	24	909102	農地バトル事業	1 遊休農地面積	ha	4.00	5.60	現状のまま継続

特記事項

- ・参加者の購入意欲度向上に向け、体験田植え・稲刈りや産直めぐりなどの各種イベントを通じ、吉川産農産物のPRを行った。
- ・農業者支援のため、認定農業者や新規認定農業者、農業団体等に対し支援を行うとともに、用排水路整備・維持管理事業等を行い農業生産基盤の整備を行った。

今後の展開

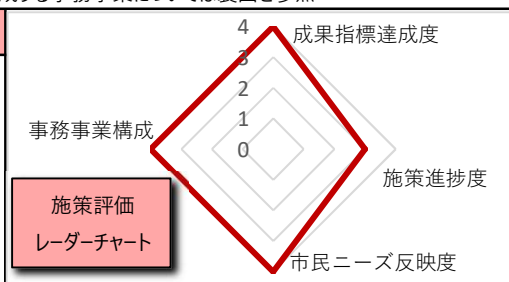
- ・吉川産農産物のPRや安定した農業経営支援、農業生産基盤の整備に向け、これまで行ってきたさまざまな事業を引き続き行うとともに、6次産業化や農福連携など新たな取組みも検討していく。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 4 - 6	
基 本 事 項	施策名	第6節 賑わいある商業の振興	所管部署名	産業振興部
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり（地域振興部門）	評価責任者	山崎 守
	施策小項目	1 経営の安定化	施策小項目	
		2 商業基盤の整備	施策小項目	
			施策小項目	
			関連部署名(1)	産業振興部商工課
			関連部署名(2)	
			関連部署名(3)	
			関連部署名(4)	
	施策の目的	事業者の経営の安定・持続、消費者にとって魅力ある個店の増加及び新たに創業ができることをめざす。	役割分担	市民の役割 ・事業者等は、顧客ニーズの把握と新製品の開発に努めるとともに経営改善に努める。 ・商業団体等は、研修会やイベント等の実施を通じて消費者の拡大に努める。
	施策に関する個別計画			

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
①	市内に魅力ある商店がある（買い物をしたい）と答えた市民の割合	%	74.3	78.9	77.5	A	80.5
	増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3
②	商店数	店	284	430	284	A	284
	増加することが良いとされる指標		H26	R1	R1		R1

評価軸	評価方法		評価点
	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 8点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	商店数の増加と市民満足度の上昇を鑑みると、施策の進捗状況は概ね順調である。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは市民意識調査にて把握しているが、年々上昇していることから十分に反映されている。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	施策の目的を達成するために十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題			総合評価
商店数が増加傾向にある一方で、普段から頻繁に利用するスーパーが閉店し高齢者等は買い物する場所が困難な状況である。			4点
施策評価 レーダーチャート			評価軸①~④の 評価点の 平均点



貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構 成	1	602104	商工会支援事業	1	新会員事業所数	事業所	62	27	現状のまま継続
	2	602101	商業活性化推進事業	1	対象団体会員数	事業所	140	100	現状のまま継続
	3	602103	融資制度事業	1	融資実行数	件	1	0	現状のまま継続
	4	602108	ふるさと納税推進事業	1	返礼品の送付件数	件	1,000	922	現状のまま継続
成 す る 事 務 事 業									

特記事項

今後の展開

- ・商工会にて例月開催される会議等に参加し情報を共有し、商業団体の活動を引き続き支援するとともに、大吉ブランドや一店逸品等の特産品を官民協働にて販路拡大を図る。
- ・ふるさと納税返礼品を増加し充実することにより、地場産品等を市内外にPRする。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	4 - 7
------------	-----------	------------	-------

基	施策名	第7節 活力ある工業の振興	所管部署名	産業振興部
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり（地域振興部門）	評価責任者	山崎 守
	施策小項目	1 経営の安定化	施策小項目	
	施策小項目	2 工業団地の整備	施策小項目	
	施策小項目	3 企業の立地推進	施策小項目	
本	施策小項目		関連部署名(1)	産業振興部商工課
	施策小項目		関連部署名(2)	産業振興部企業誘致担当
	施策小項目		関連部署名(3)	
	施策小項目		関連部署名(4)	
事	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業等の経営の安定・持続と新たに創業する事業者が増加することをめざす。 ・工業団地が整備されることにより、立地企業が増えることをめざす。 	市民の役割	企業等は市場や顧客ニーズの把握、新技術や新製品の開発に努めるとともに、経営改善に努める。
	施策に関する個別計画			経営相談、経営セミナー等の実施や制度融資の利用を促進し、経営の安定を図る。工業・建設業団体が取り組む事業を必要な範囲で支援する。工業団地の整備と工場立地情報の把握に努める。
項	役割分担		行政の役割	

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
指	①	工業事業者数	事業所	179	188	202	D	211
		増加することが良いとされる指標		H26	R1	R1		R2
標								

施策の評価	評価方法		評価点
	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	事務事業は計画通り実行できているが、立地企業について、増加する必要がある。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	産業フェアや展示会等を市と共同により実施し、事業者の優れた技術や製品を広く市民にアピールすることにより反映できた。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成として、施策の目的を達するに十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題			総合評価
工業事業所は増加しているが、更なる増加のためには新たな工業用地が必要であり、そのためには、関係部署との連携が不可欠である。			
			評価軸①~④の評価点の平均点

施策評価 レーダーチャート

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成	1	602102	工業団体支援事業	1 吉川工専工業会の会員数	事業所	80	78	現状のまま継続
	2	602107	住宅改修費補助事業	1 住宅改修費補助対象総額	円	40,000,000	50,922,457	現状のまま継続
	3	602105	経営改善推進事業	1 相談件数	件	5	8	現状のまま継続
	4	603101	市内企業等の拡張支援事業	1 企業誘致関連情報収集活動記録の作成率	%	100	100	現状のまま継続
成 す る 事 務 事 業								

特記事項

今後の展開

- ・吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理地内の産業ゾーンへの工業事業所立地が見込まれる。
- ・新たな工業用地の整備に向け、情報収集や関係機関との調整を図る。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	4 - 8
------------	-----------	------------	-------

基	施策名	第8節 労働環境の充実		所管部署名	産業振興部			
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり（地域振興部門）		評価責任者	山崎 守			
	施策小項目	1 就労機会の拡大	施策小項目	関連部署名(1)	産業振興部商工課			
	施策小項目	2 勤労者福利厚生 の 充実	施策小項目	関連部署名(2)				
	施策小項目	3 働くひとのための相談の利用促進	施策小項目	関連部署名(3)				
本	施策小項目			関連部署名(4)				
	事	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の安定と就労機会が拡大されることをめざす。 ・勤労者が安心して働ける労働環境の向上をめざす。 		役割分担	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスの実現に努める。 ・事業者は、雇用の創出に努めるとともに、従業員のための福利厚生 の 充実に努める。 	
		施策に関する個別計画					行政の役割	求職者の就業支援や労働者の雇用問題解決を支援する。勤労者の住宅取得支援や福利厚生事業の活用促進を図る。表彰制度により労働意欲を高める。
	項							

区分	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
指	① 多様な働き方認定企業認定件数 増加することが良いとされる指標	社	16	24	28	C	34
			H27	R1	R1		R3
標	② 市内求人情報誌掲載企業数 増加することが良いとされる指標	件	248	256	281	D	297
			H27	R1	R1		R3

施策の評価	評価軸	評価方法	評価点
	指	評価軸 ① 指標達成状況 指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 3点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
策	評価軸 ② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調 (最終年度には100%以上の達成度の見込み) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 (最終年度には80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (最終年度には50~80%程度達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (最終年度には50%未満の達成度)	評価の理由・説明 事務事業は計画通り実行できているが、広報やホームページによる周知をしているにもかかわらず掲載企業数は伸び悩んでいる。 ハローワーク及び市内求人情報を定期的に更新後、速やかに配布していることから市民ニーズを反映している。 事務事業の構成は施策目的を達成するため十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
の	評価軸 ③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		4点
評	評価軸 ④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
価	施策に関する現状と課題 毎月更新される市内事業者の求人情報を駅や市内公共施設に配布しており、合同就職面接会の開催により、職住近接の働き方を市民が選択できるよう支援している。また、市としても多様な働き方を推進する必要がある。		<div style="text-align: center;"> <p>施策評価レーダーチャート</p> </div>
			総合評価 3点 評価軸①~④の評価点の平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構	1	602201	雇用対策推進事業	1	就職相談利用者数	人	24	26	現状のまま継続
	2	602203	勤労者表彰事業	1	受賞者数	人	11	7	現状のまま継続
	3	602202	勤労者住宅資金貸付事業	1	新規融資実行件数	件	1	0	現状のまま継続
成									
す									
る									
事									
務									
事									
業									

特記事項
 ・多様な働き方プロジェクト推進事業として、商工会と共同によりテレワークセミナー及びテレワークオフィス開放を実施した。

今後の展開
 ・市民と市内事業所に対しテレワークやリモートワーク、ワーケーション等、多様な働き方を推奨し、推進していく必要がある。
 ・市内事業者及びハローワークの求人情報誌を配布、合同就職面接会の開催などにより職住近接の働き方を市民が選べるよう支援していく。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No. 4 - 9
------------	-----------	------------------

基 本 事 項	施策名	第9節 観光の充実		所管部署名	産業振興部
	まちづくり目標	第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり（地域振興部門）		評価責任者	山崎 守
	施策小項目	1 観光事業の充実	施策小項目	関連部署名(1)	産業振興部商工課
	施策小項目	2 観光資源の開発	施策小項目	関連部署名(2)	
	施策小項目		施策小項目	関連部署名(3)	
			施策小項目	関連部署名(4)	
	施策の目的	吉川の魅力が広まり、観光客が増加することで賑わいのあるまちになることをめざす。			市民の役割 役割分担
	施策に関する個別計画				
					行政の役割

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指	① 入込観光客数	人	73,000	37,000	87,600	D	94,900
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

施策の 評価	評価軸	評価方法	評価点
		評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。
	評価軸② 施策の 進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	3点
	評価軸③ 市民ニーズ の反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	4点
	評価軸④ 施策に対する 事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	4点
	施策に関する現状と課題		
	市の大きなイベントである市民祭り、八坂祭り、ジャズナイトについて、市内外から大勢の集客が図られているが、JRが主催する駅からハイキング等のイベントにも多くの参加者が訪れる。今後、市への入込観光客数を増加するため、市外への観光発信が課題である。		3点
			総合評価 3点 評価軸①~④の評価点の平均点

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値	
構 成 す る 事 務 事 業	1	602106	観光団体支援事業	1 観光協会純増会員数	件	10	1	現状のまま継続

特記事項

- ・ガイドマップや桜マップの増刷、新たになまずマップを作成し市内外のイベント開催時には配布するよう努めた。

今後の展開

- ・会員増加に努め、会員主体の運営を検討していく。
- ・よしかわ観光協会に補助金を交付し、事務局を商工課で担っているが、商工会等の市内関係団体等と連携し新規事業を検討する。
- ・今後のイベントは新型コロナウイルス感染症対策を十分施したうえで検討し開催していく必要がある。